

日本板硝子株式会社

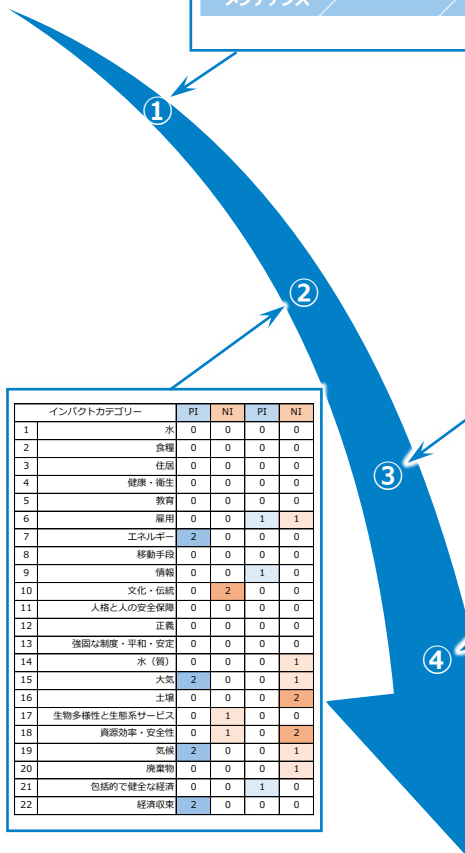
インパクト評価書

2023年9月29日

インパクト分析フロー

- 下記のフローで御社のインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました。

工程	内容
① バリューチェーン分析	事業を各工程で区切り、価値創造プロセスを整理することで、インパクト分析の下地を作ります。
② インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的なインパクトを22項目で確認します。
③ インパクトの特定	①、②、そしてヒアリング結果等からインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認します。
④ 目標・KPI設定	特定したポジティブインパクトが増大、あるいはネガティブインパクトが抑制されるような目標とKPIを設定します。
⑤ インパクト評価書	①～④をまとめ、当行HPに公表します。



インパクトカテゴリー	PI	NI	PI	NI	
1	水	0	0	0	0
2	食糧	0	0	0	0
3	住居	0	0	0	0
4	健康・衛生	0	0	0	0
5	教育	0	0	0	0
6	雇用	0	0	1	1
7	エネルギー	2	0	0	0
8	移動手段	0	0	0	0
9	情報	0	0	1	0
10	文化・伝統	0	2	0	0
11	人権と人の安全保障	0	0	0	0
12	正義	0	0	0	0
13	強固な制度・平和・安定	0	0	0	0
14	水（純）	0	0	0	1
15	大気	2	0	0	1
16	土壌	0	0	0	2
17	生物多様性と生態系サービス	0	1	0	0
18	資源効率・安全性	0	1	0	2
19	気候	2	0	0	1
20	廃棄物	0	0	0	1
21	包括的で健全な経済	0	0	1	0
22	経済成長	2	0	0	0

インパクト	目標（案）	KPI（案）	関連するSDGs
気候、資源効率・安全性	・ 〇年のGHG排出量（〇年度比）	・ GHG排出量削減率（〇年度比）	13, 14, 15, 17
資源効率・安全性、廃棄物	・ 産業廃棄物の発生量 ・ 化学物質発生量単位	・ 〇年度 ・ 〇年度 ・ 〇Nt/年/t	12, 13, 15, 17

インパクト評価書
（ドラフト）

- 当社および川上、川下の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ（バリューチェーン）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから特定しました
- 高機能ガラス事業は販売先が多岐にわたり業種を特定できないため分析対象から除外しています

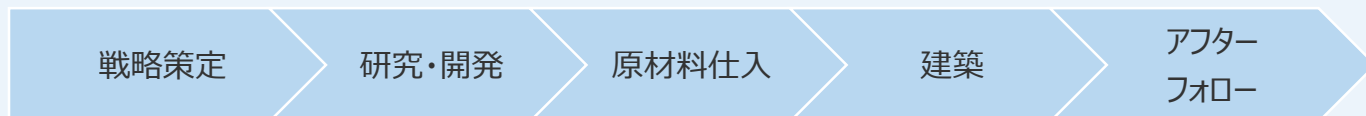
川上：採石業

当社：ガラス製造業（建築用、自動車用、高機能）

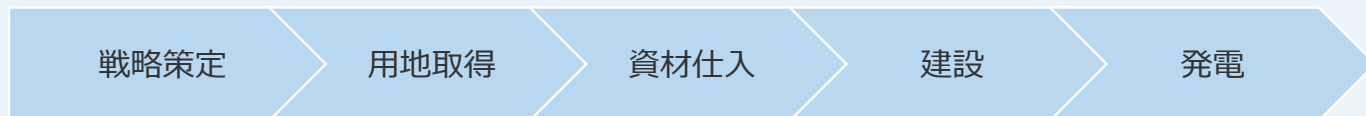


川下① 建築業

建築用ガラス事業



川下② 太陽光発電事業



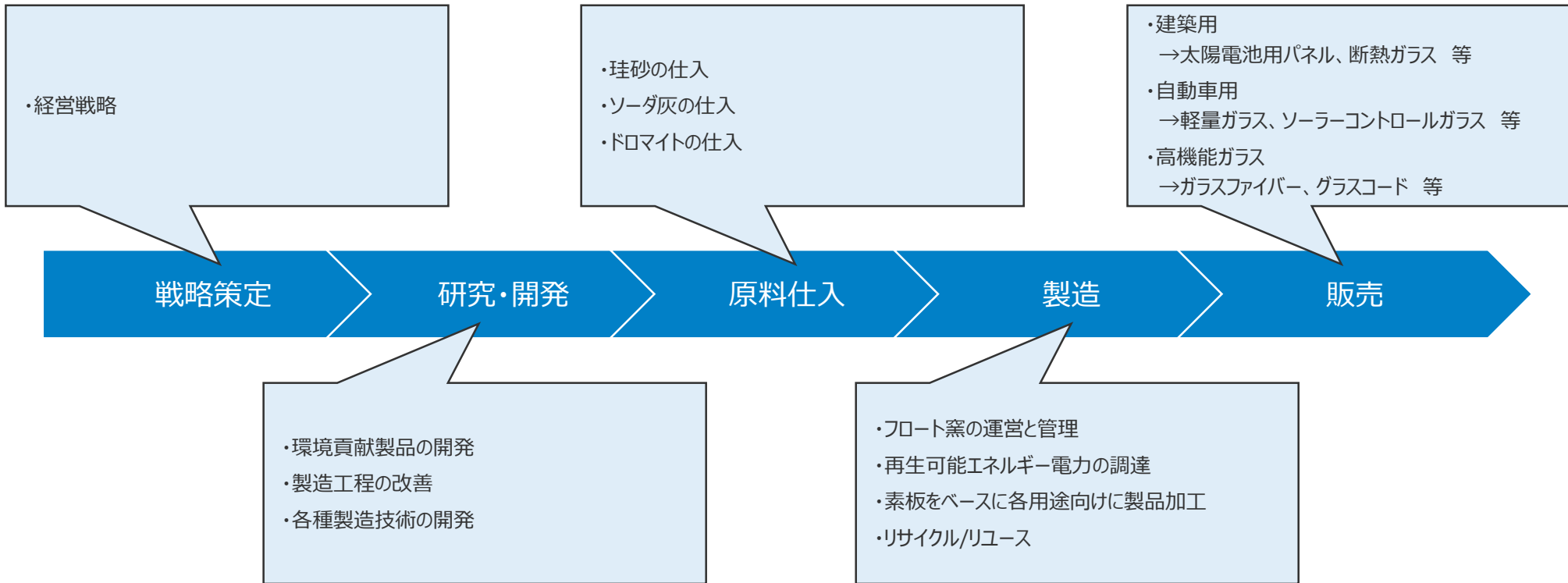
川下③ 自動車製造事業

自動車用ガラス事業



- 当社の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ（バリューチェーン）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから特定しました

ガラス製造事業（建築用、自動車用、高機能）



- 当社の事業について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけ整理しました
- UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

ISIC : 0899 他に分類されないその他の鉱業及び採石業

インパクトカテゴリー	PI	PI補足	NI	NI補足
1		水	2	飲料水の不足及び/または汚染に寄与する可能性
2		食糧		
3		住居		
4		健康・衛生	1	汚染に関連した健康被害
5		教育		
6	1	雇用 生計の維持	1	低位かつ不規則な収入の可能性 不健康または不公平な労働条件の可能性
7		エネルギー		
8		移動手段		
9		情報		
10		文化・伝統		
11		人格と人の安全保障	2	採掘ビジネスに関連した紛争
12		正義		
13		強固な制度・平和・安定		
14		水（質）	2	汚染の一因となる可能性
15		大気		
16		土壌	2	汚染の一因となる可能性
17		生物多様性と生態系サービス	2	陸上の生態系や生物種を混乱させる可能性
18		資源効率・安全性	2	水、エネルギー、土地
19		気候	1	GHG排出
20		廃棄物	1	抽出工程と老朽化した機械から出る廃棄物
21	1	包摂的で健全な経済 製造業、建設業等の様々なサプライチェーンに不可欠		
22		経済収束		

(凡例)
 2 : 影響大
 1 : 影響あり
 空 : 影響なし

- 当社の事業について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけ整理しました
- UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

ISIC : 2310 ガラス及びガラス製品製造業

インパクトカテゴリー	PI	PI補足	NI	NI補足
1	水			
2	食糧			
3	住居	1 住居への貢献		
4	健康・衛生			
5	教育			
6	雇用	1 生計の維持	1	事故
7	エネルギー			
8	移動手段			
9	情報			
10	文化・伝統			
11	人格と人の安全保障			
12	正義			
13	強固な制度・平和・安定			
14	水（質）		2	汚染の一因となる可能性
15	大気		1	汚染の一因となる可能性
16	土壌		2	土壌汚染
17	生物多様性と生態系サービス			
18	資源効率・安全性		1	エネルギー、水、砂
19	気候		1	GHG排出
20	廃棄物		1	製造過程ならびに設備の老朽に伴う廃棄物
21	包摂的で健全な経済	1 健全な経済の一部である製造業、建設業を始めとする様々な分野のサプライチェーンのサポート		
22	経済収束			

(凡例)
 2 : 影響大
 1 : 影響あり
 空 : 影響なし

- 当社の事業について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけ整理しました
- UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

ISIC : 4100 建築工事業

インパクトカテゴリー	PI	PI補足	NI	NI補足
1	水			
2	食糧			
3	住居	2 住居へのアクセス		
4	健康・衛生	1 建設様式に応じたウェルビーイングへの貢献	1	使用される建築材料に応じた健康被害
5	教育			
6	雇用	1 生計の維持	1	健康と安全の条件
7	エネルギー	1 エネルギーの節約に寄与する可能性	1	低いエネルギー効率をもたらすコスト上昇の可能性
8	移動手段			
9	情報			
10	文化・伝統		1	古い建物の取壊し等による文化遺産を損なう可能性
11	人格と人の安全保障		1	
12	正義			
13	強固な制度・平和・安定			
14	水（質）		1	汚染または枯渇に寄与する可能性
15	大気		1	汚染の原因となる可能性（建設時及び/または建物の維持）
16	土壌		1	使用される材料に応じた汚染の原因の可能性
17	生物多様性と生態系サービス		1	生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性
18	資源効率・安全性		1	エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材
19	気候		2	工程及び使用者によるGHG排出
20	廃棄物		2	廃材や老朽化した機械の処分
21	包摂的で健全な経済	1 経済のほとんどの分野をサポート		
22	経済収束	1 手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂		

(凡例)
 2 : 影響大
 1 : 影響あり
 空 : 影響なし

- 当社の事業について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけ整理しました
- UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

ISIC : 3512 太陽光発電

インパクトカテゴリー	PI	PI補足	NI	NI補足
1		水		
2		食糧		
3		住居		
4		健康・衛生		
5		教育		
6		雇用		
7	2	エネルギーへのアクセス		
8		移動手段		
9		情報		
10		文化・伝統		
11		人格と人の安全保障		
12		正義		
13		強固な制度・平和・安定		
14		水（質）		
15	2	大気汚染の軽減に貢献		
16		土壌		
17		生物多様性と生態系サービス		
18		資源効率・安全性	1	発電所を建てるための原料
19	2	排出量削減に貢献		
20		廃棄物		
21		包摂的で健全な経済		
22	2	生活水準を向上させ、経済発展に不可欠		

(凡例)
 2 : 影響大
 1 : 影響あり
 空 : 影響なし

- 当社の事業について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけ整理しました
- UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

ISIC : 2910 自動車製造業

インパクトカテゴリー		PI	PI補足	NI	NI補足
1	水			2	水の大量消費
2	食糧				
3	住居				
4	健康・衛生			2	大気汚染の主な原因の一つ
5	教育				
6	雇用	1	生計の維持	1	健康と安全の条件
7	エネルギー				
8	移動手段	2	移動手段へのアクセス	1	悪影響の少ない他の移動手段の利用減少
9	情報				
10	文化・伝統				
11	人格と人の安全保障				
12	正義				
13	強固な制度・平和・安定				
14	水（質）			1	汚染の一因となる可能性
15	大気			1	汚染の一因となる可能性
16	土壌			1	汚染の一因となる可能性
17	生物多様性と生態系サービス				
18	資源効率・安全性			2	エネルギー、水、金属、鉱物、化学品・化学製品
19	気候			2	GHG排出
20	廃棄物			1	工程、老朽化した機械、最終消費者からの廃棄物
21	包摂的で健全な経済	1	健全な経済の一部である製造業		
22	経済収束	1	人々の移動が経済の収束に貢献		

(凡例)
 2 : 影響大
 1 : 影響あり
 空 : 影響なし

インパクトマッピング (一覧)

インパクトカテゴリー		川上		当社				川下			
		採石		ガラス製造		建築		太陽光発電		自動車製造	
		PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	1		2								2
	2										
	3			1		2					
	4		1			1	1				2
	5										
	6	1	1	1	1	1	1			1	1
	7					1	1	2			
	8									2	1
	9										
	10								1		
	11		2						1		
	12										
	13										
質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	14		2		2	1					1
	15				1	1	2				1
	16		2		2	1					1
	17		2			1					
	18		2		1	1		1			2
	19		1		1	2	2				2
	20		1		1	2					1
人と社会のための経済的価値創造	21	1		1		1				1	
	22					1		2		1	

(凡例) 2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

		SDGs																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	水						●											
2	食糧	●																
3	住居											●						
4	健康・衛生			●														
5	教育				●													
6	雇用								●									
7	エネルギー							●										
8	移動手段											●						
9	情報									●								
10	文化・伝統											●						
11	人格と人の安全保障										●							
12	正義																●	
13	強固な制度・平和・安定																●	
14	水（質）						●											
15	大気			●														
16	土壌																●	
17	生物多様性と生態系サービス														●	●		
18	資源効率・安全性							●					●					
19	気候													●				
20	廃棄物												●					
21	包摂的で健全な経済					●			●									
22	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

採石業

ポジティブインパクト



- 製造業、建設業等の様々なサプライチェーンに不可欠



- 製造業、建設業等の様々なサプライチェーンに不可欠
- 生計の維持

鉱山開発

採掘

運搬

販売



- 汚染に関連した健康被害



- 飲料水の不足及び/または汚染に寄与する可能性
- 汚染の一因となる可能性



- エネルギー、水、土地



- 低位かつ不規則な収入の可能性
- 不健康または不公平な労働条件の可能性



- 採掘ビジネスに関連した紛争



- エネルギー、水、土地
- 抽出工程と老朽化した機械から出る廃棄物



- GHG排出



- 陸上の生態系や生物種を混乱させる可能性



- 陸上の生態系や生物種を混乱させる可能性
- 汚染の一因となる可能性

ネガティブインパクト

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

ガラス製造業

ポジティブインパクト



- 5 ジェンダー平等を
実現しよう
- 健全な経済の一部、様々な分野
のサプライチェーンのサポート



- 8 働きがいも
経済成長も
- 健全な経済の一部、様々な分野
のサプライチェーンのサポート
- 生計の維持



- 11 住み続けられる
まちづくりを
- 住居への貢献

戦略策定

研究・開発

原料仕入

製造

販売



- 3 すべての人に
健康と福祉を
- 汚染の一因となる可能性
（大気）



- 6 安全な水とトイレ
を世界中に
- 汚染の一因となる可能性
（水）



- 7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
- エネルギー、水、砂



- 8 働きがいも
経済成長も
- 事故



- 12 つくる責任
つかう責任
- エネルギー、水、砂
- 抽出工程と老朽化した機械から
出る廃棄物



- 13 気候変動に
具体的な対策を
- GHG排出










- 15 陸の豊かさも
守ろう
- 土壌汚染

ネガティブインパクト

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

建築業

ポジティブインパクト

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂 	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギーの節約に寄与する可能性 	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 建設様式に応じたウェルビーイングへの貢献 	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生計の維持 		
 <p>5 ジェンダー平等を促進しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 経済のほとんどの分野をサポート 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 住居へのアクセス 		



 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 使用される建築材料に応じた健康被害 • 汚染の原因となる可能性（大気） 	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 健康と安全の条件 	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> • エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材 • 廃材や老朽化した機械の処分 	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 使用される材料に応じた汚染の原因の可能性 • 生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 汚染または枯渇に寄与する可能性 	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • (補記なし) 	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 工程及び使用者によるGHG排出 		
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 低エネルギー効率もたらすコスト上昇の可能性 • エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 古い建物の取壊し等による文化遺産を損なう可能性 	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性 		

ネガティブインパクト

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

太陽光発電事業

ポジティブインパクト



•生活水準を向上させ、経済発展に不可欠



•排出量削減に貢献



•大気汚染の軽減に貢献



•生活水準を向上させ、経済発展に不可欠



•エネルギーへのアクセス

戦略策定

用地取得

資材仕入

建設

発電



•発電所を建てるための原料







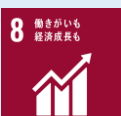
•発電所を建てるための原料

ネガティブインパクト









- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

自動車製造業

ポジティブインパクト



 <p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済の収束に貢献 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移動手段へのアクセス
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健全な経済の一部である製造業 	 <p>17 パートナリープで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済の収束に貢献
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健全な経済の一部である製造業 生計の維持 		



 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の主な原因の一つ 	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康と安全の条件 	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水の大量消費 汚染の一因となる可能性 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 悪影響の少ない他の移動手段の利用減少 	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 汚染の一因となる可能性
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品・化学製品 	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品・化学製品 工程、老朽化した機械、最終消費者からの廃棄物 		

ネガティブインパクト

- インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社が定めるマテリアリティならびにサステナビリティ基本方針等との整合性を踏まえ、目標・KPIを以下のように選択し、設定しました

インパクト (※)	目標	KPI	関連するSDGs
気候、 資源効率・安全性 (NI)	<ul style="list-style-type: none"> Scope1,2のCO₂排出量を2030年までに2021年比24.0%削減する <p>※2030年までの各年次ごとの目標は、あおぞら銀行が確認しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減率 (2021年比) 	 
	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動で消費する全電力における再生可能エネルギー由来の電力使用割合を2030年までに85%とする 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー電力比率 	

※NI：ネガティブ・インパクトの抑制



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。